

部コード	01	部名	総務部	部長名	山元 真二郎
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>【広報・広聴活動の充実】○広報あびこホームページ等による行政施策の情報提供を、迅速かつ的確に行っていきます。○市政への手紙やメール、eモニター、市政ふれあい懇談会などを通じ市民の声を市政に反映させます。○若い世代の定住化の促進や交流人口の増加を図るため、あびこの魅力を広く市内外に効果的に発信します。</p> <p>【情報公開の徹底】○情報公開制度に基づき、市政に関する情報を適切かつ積極的に公開します。○ファイリングシステムの維持管理を徹底し、文書の適正な管理に努めます。</p> <p>【機能的な組織運営と人材育成】○地方分権に対応した人材育成を図るため、各種研修の実施や人事評価の活用とともに、国や県などとの人材交流や人材派遣を実施します。さらに引き続き職制や組織体制を見直し、第四次総合計画を効果的に推進する組織の構築を進めます。○定員管理の適正化に努めるとともに、人件費の抑制の取り組みを進めます。○働き方改革や新たな生活様式に対応するため多様な勤務体制を検討し、在宅勤務などテレワークの継続・定着を図ります。</p> <p>【リスクマネジメントの推進】○事務処理誤りの発生を防止するため、策定した対応方針により防止策を検討・実施し、職員一人一人のリスクマネジメントの取り組みを推進します。</p> <p>【公民連携の推進と事業見直し】○行政や市民、NPO、企業などの多様な主体が、市民ニーズに適合した質の高いサービスを提供していけるよう、多様な手法を検討・活用し、事業の民営化や委託化を進めます。○事業の必要性や実施主体のあり方などについて、市民の視点を取り入れ、根本から事務事業の見直しを行います。</p> <p>【公有財産の有効活用と適正管理】○施設保全台帳システム等を活用し、適正な財産管理に努めます。</p> <p>【DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、マイナンバー制度の普及】○行政手続きのオンライン化やキャッシュレス・AI・RPAの利用推進、オープンデータの取組み及び官民データ活用推進計画の策定などDXを推進し、事務の効率化、コストの縮減、セキュリティの強化にも努めます。また国の方針によるシステムの標準化や共有化も取り組みます。○「マイナンバーカード交付円滑化計画」に基づき、マイナンバーカードの交付円滑化や用途拡大に取り組んでいます。</p> <p>【その他の取り組み】○契約制度を適切に運用し、さらに契約の適正化に努めます。</p> <p>【男女共同参画社会の実現】○平成31年度にスタートした「第三次男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画の趣旨が一層理解されるよう事業を進めます。</p> <p>【東京オリンピック・パラリンピック、聖火リレーの推進】○東京オリンピックの聖火リレーが我孫子市を通ることに伴い、我孫子の将来を担う子どもたちが夢や希望を持ち市民の記憶に残る聖火リレーとなるよう市をあげて取り組んでいきます。</p>				<p>・人事評価制度の活用を行うとともに、研修計画に沿った階層別の研修をはじめ各種研修の実施や千葉県などへの研修派遣により、効果的な人員育成に努めた。</p> <p>・定員管理適正化計画を着実に実施し、人件費の抑制に努めた。</p> <p>・在宅勤務、時差出勤などの勤務制度を庁内へ周知し、職員の働き方改革の推進に努めた。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>概ね予定どおり執行できた。</p> <p>■市民と市の情報共有の推進については、広報あびこやホームページなどを通じ行政施策の情報提供に努め、市政の手紙やふれあい懇談会などでは、直接市民の生の声を聴き、行政運営に反映することができた。</p> <p>■行政改革の推進については、行政改革推進プランに沿って、各事務事業の見直しや行政改革推進委員会による事業仕分けを行うなど、事業の見直し検討を進めた。また、各種研修をはじめ、国や県との人事交流を通じて人材育成に務め、第四次総合計画を効果的に推進するため、部の再編、デジタル化の推進などを柱とした4年度の組織体制を構築した。DX推進は、RPAなど業務効率化とセキュリティの強化に努めるとともに、包括委託終了後、1月から次期事業者による運用を開始した。</p> <p>■男女が共に参画する社会の形成については、男女共同参画プラン実施計画に基づき、事業の推進に努めた。</p> <p>■東京オリンピック・パラリンピックは、学校連携観戦や事前キャンプなどの市民参加の機会に努めた。</p>	



課コード	01	課名	総務課	課長名	山崎 美弥子
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>■人事評価制度を中心とする人事管理、研修や職場環境整備を柱に、総合的・効果的に人材育成を進めます。</p> <p>■給与水準の適正化に努めるとともに、定員管理適正化計画の確実な実行により、人件費総額の抑制を図ります。</p> <p>■公務効率の向上、職員の健康増進及びワーク・ライフ・バランスの実現のため、時間外勤務の削減をはじめとした労働時間の短縮を推進します。</p>				<p>概ね所期の目標を達成できた。</p> <p>・人事評価制度の活用を行うとともに、研修計画に沿った階層別の研修をはじめ各種研修の実施や千葉県などへの研修派遣により、効果的な人員育成に努めた。</p> <p>・定員管理適正化計画を踏まえ、人件費の抑制に努めた。</p> <p>・ノー残業デーを実施し、時間外勤務の削減に努めた。やむをえず長時間労働を行った職員に対して、産業医面談を実施し、職員の健康維持に努めた。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>厳しい財政状況の中で効率的な市役所を実現するためには、少数精鋭による業務執行体制の確立、給与水準の適正化、職員の資質向上、組織・事務事業の見直しは避けることができない。そのためには、全職員で危機感を共有することが必須であり、総務課が先導的役割を担い、職員の意識改革に取り組んでいく。</p>					



4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)		重 プ 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
1	職員研修	重無	83201	職員研修の年間延べ受講者数	人	1,607	1,500	1,596	106.4	結合
2	人事評価の実施	重無	83201	苦情相談窓口への相談件数	件	0	0	0	0	結合
3	公務災害補償事務	重無	00000	認定請求をしたうちの認定された割合	%	100	100	100	100	現状
4	会計年度任用職員の任用管理	重無	83201	会計年度任用職員要望に対する充足率	%	100	100	100	100	現状
5	安全運転管理者等の管理業務	重無	00000	事業所職員への安全運転教育等の件数	回	6	6	6	100	現状
6	定期健康診断	重無	00000	健康診断等受診率(受診者数/総職員数)	%	55	60	47.3	78.83	現状
7	新規職員採用業務	重無	83201	新規採用職員の人事考課年度評定数の平均値	点	62.2	65	62.2	95.69	現状
8	特殊健康診断	重無	00000	特殊健康診断等受診率(受診者数/有害業務従事職員数)	%	83	100	45.2	45.2	現状
9	管理職登用試験制度の実施	重無	83201	資格者名簿登録人数	人	10	28	10	35.71	結合
10	職員の人事異動業務	重無	83201	所属長が適材適所の人材配置が行われたと思う職員の割合	%	91.5	75	91.5	122	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	職員団体との交渉	重無	00000	交渉事項の合意率（合意件数／要求件数）	%	24	30	24	80	現状
12	職員被服貸与事務	重無	00000	必要とされる被服の貸与	%	100	100	100	100	現状
13	庁内報発行事務	重無	00000	発行回数	回	2	3	2	66.67	現状
14	千葉県市町村総合事務組合退職者事務	重無	00000	退職事務に係る申請処理割合	%	100	100	100	100	現状
15	千葉県市町村職員共済組合事務	重無	00000	組合員からの届出に伴う共済組合への申告割合	%	100	100	100	100	現状
16	我孫子市職員福利厚生会事業	重無	00000	元気に業務遂行している職員数割合	%	99.4	100	100	100	現状
17	特別職報酬等審議会の開催	重無	00000	審議会の実施率	%	100	100	0	0	現状
18	給与計算事務	重無	00000	業務の完全遂行率	%	100	100	100	100	現状
19	労働安全衛生業務	重無	00000	職員数に対する災害発件数の割合	%	0.7	0.6	0.9	66.67	現状

部の運営方針・課の目標設定書(令和3年度)

部コード	01	部名	総務部	部長名	山元 真二郎
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>【広報・広聴活動の充実】○広報あびこホームページ等による行政施策の情報提供を、迅速かつ的確に行っていきます。○市政への手紙やメール、eモニター、市政ふれあい懇談会などを通じ市民の声を市政に反映させます。○若い世代の定住化の促進や交流人口の増加を図るため、あびこの魅力を広く市内外に効果的に発信します。</p> <p>【情報公開の徹底】○情報公開制度に基づき、市政に関する情報を適切かつ積極的に公開します。○ファイリングシステムの維持管理を徹底し、文書の適正な管理に努めます。</p> <p>【機能的な組織運営と人材育成】○地方分権に対応した人材育成を図るため、各種研修の実施や人事評価の活用とともに、国や県などとの人材交流や人材派遣を実施します。さらに引き続き職制や組織体制を見直し、第四次総合計画を効果的に推進する組織の構築を進めます。○定員管理の適正化に努めるとともに、人件費の抑制の取り組みを進めます。○働き方改革や新たな生活様式に対応するため多様な勤務体制を検討し、在宅勤務などテレワークの継続・定着を図ります。</p> <p>【リスクマネジメントの推進】○事務処理誤りの発生を防止するため、策定した対応方針により防止策を検討・実施し、職員一人一人のリスクマネジメントの取り組みを推進します。</p> <p>【公民連携の推進と事業見直し】○行政や市民、NPO、企業などの多様な主体が、市民ニーズに適合した質の高いサービスを提供していけるよう、多様な手法を検討・活用し、事業の民営化や委託化を進めます。○事業の必要性や実施主体のあり方などについて、市民の視点を取り入れ、根本から事務事業の見直しを行います。</p> <p>【公有財産の有効活用と適正管理】○施設保全台帳システム等を活用し、適正な財産管理に努めます。</p> <p>【DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、マイナンバー制度の普及】○行政手続きのオンライン化やキャッシュレス・AI・RPAの利用推進、オープンデータの取組み及び官民データ活用推進計画の策定などDXを推進し、事務の効率化、コストの縮減、セキュリティの強化にも努めます。また国の方針によるシステムの標準化や共有化も取り組みます。○「マイナンバーカード交付円滑化計画」に基づき、マイナンバーカードの交付円滑化や用途拡大に取り組んでいます。</p> <p>【その他の取り組み】○契約制度を適切に運用し、さらに契約の適正化に努めます。</p> <p>【男女共同参画社会の実現】○平成31年度にスタートした「第三次男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画の趣旨が一層理解されるよう事業を進めます。</p> <p>【東京オリンピック・パラリンピック、聖火リレーの推進】○東京オリンピックの聖火リレーが我孫子市を通ることに伴い、我孫子の将来を担う子どもたちが夢や希望を持ち市民の記憶に残る聖火リレーとなるよう市をあげて取り組んでいきます。</p>				<p>■広報・広聴活動の充実では、広報やホームページ等を通じて、行政施策の情報提供に努めた。新型コロナの影響によるライフスタイルの変化や終息後を見据えたシティプロモーションに取り組み、民間調査で初めて市の名前が挙げられるなど効果がみられた。市政ふれあい懇談会は、感染対策を工夫して、春・秋とも全地区で開催し、市民の声を市政に反映するよう努めた。</p> <p>■男女共同参画社会の実現では、第3次プランに基づき、事業を推進した。</p> <p>■東京オリンピック・パラリンピック、聖火リレーの推進では、新型コロナの影響により聖火リレーやオリンピック学校観戦が中止になる等、変更が多く生じたが、事前キャンプや学校連携観戦等で、市民参加の機会をつくることができた。また、聖火リレートーチ等の常設展示を行い、レガシー創出に取り組むことができた。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>概ね予定どおり執行できた。</p> <p>■市民と市の情報共有の推進については、広報あびこやホームページなどを通じ行政施策の情報提供に努め、市政の手紙やふれあい懇談会などでは、直接市民の生の声を聴き、行政運営に反映することができた。</p> <p>■行政改革の推進については、行政改革推進プランに沿って、各事務事業の見直しや行政改革推進委員会による事業仕分けを行うなど、事業の見直し検討を進めた。また、各種研修をはじめ、国や県との人事交流を通じて人材育成に務め、第四次総合計画を効果的に推進するため、部の再編、デジタル化の推進などを柱とした4年度の組織体制を構築した。DX推進は、RPAなど業務効率化とセキュリティの強化に努めるとともに、包括委託終了後、1月から次期事業者による運用を開始した。</p> <p>■男女が共に参画する社会の形成については、男女共同参画プラン実施計画に基づき、事業の推進に努めた。</p> <p>■東京オリンピック・パラリンピックは、学校連携観戦や事前キャンプなどの市民参加の機会に努めた。</p>	

課コード	03	課名	秘書広報課	課長名	岡田 一男
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>・市民ニーズを的確に把握して市政に反映させるため、市政の手紙やメール、ふれあい懇談会等の広聴活動の充実を図ります。</p> <p>・市民との情報の共有化を進めるため、広報あびこやホームページ、報道機関への記者会見などを通じ情報提供を積極的に行うとともに定住化の促進や交流人口の増加を図るため、あびこの魅力を広く市内外に発信します。また、情報発信の手法についても研究していきます。</p> <p>・市民の意見や要望をリアルタイムに収集し、各事業に反映させるため、わかりやすく答えやすいアンケートを実施し、丁寧な回答を行うとともに、広報への掲載、各公共施設への募集チラシの設置を徹底して、eモニター数の増員を図っていきます。</p> <p>・施策策定の過程における市民の意見反映を進めるため、条例の制定改廃その他基本的施策の策定において、引き続きパブリックコメントを行っていきます。</p> <p>・男女が共に参画する社会の実現に向け平成31年度からスタートした「第三次男女共同参画プラン」に基づき、様々な施策を推進します。また、講演会の開催や情報紙の発行、広報などにより、市民・事業者への啓発を図ります。</p> <p>・教育の条件整備など重点的に講ずべき施策や、児童・生徒等の生命・身体保護等緊急の場合に講ずべき措置などについて、総合教育会議において協議調整するため、教育委員会と連携しながら総合教育会議の運営を着実に行う。</p> <p>・令和3年7月3日に市内を通る予定の東京オリンピック聖火リレーを含め、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業が、我孫子の子どもたちが夢や希望を持ち、市民の記憶に残るものとなるよう市を挙げて取り組みます。</p>				<p>東京オリンピック・パラリンピック推進事業については、大会の無観客開催などにより、実施内容に変更が多く生じたが、それ以外の事業については、概ね予定通り執行できた。</p> <p>■広報やホームページ、定例記者会見等を通して、市民へより分かりやすい行政情報の提供に努めた。また、コロナ禍であったが、市政ふれあい懇談会は、感染対策を工夫し、春・秋とも全地区実施するとともに、市政への手紙・メール、eモニターなどで、市民の声を広く聴き、市政へ反映できるよう努めた。</p> <p>■男女共同参画社会の実現では、趣旨の理解がより深まるよう「男女共同参画プラン(第3次)」に基づき、オンラインでの連続講座や情報誌の発行などの啓発活動により、事業を推進した。</p> <p>■シティプロモーションの推進では、新型コロナの終息後を見据え、新型コロナ対応臨時交付金を活用して、市の魅力を積極的にPRするため『ABI ROAD』を増刷、新しい生活様式を取り入れた『住み替えあびこナビ』を改訂した。特に、住み替えに関する取組みでは、民間企業のランキング調査で初めて市の名前が挙げられるなど、効果が見られた。</p> <p>■東京オリンピック・パラリンピック推進事業では、ホストタウン登録をしたスロベニア共和国のオリンピック代表選手の事前キャンプ受け入れや事後交流の実施、白山中生徒向けに今井友明選手の車いすラグビー体験会実施、オリンピック・パラリンピック関連展示に駐日スロベニア大使をお招きするなどの取り組みを行った。また、聖火リレートーチの小中学校、保育園の巡回展示やアピスタへの常設展示を行った。新型コロナの影響により、聖火リレーと学校連携観戦のうちオリンピック観戦が中止、パラリンピック観戦が小中学生の観戦希望者の減少による縮小など、変更が相次いだ。実施できた事業については、市民参加の機会をつくるとともに、レガシー創出に取り組むことができた。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>秘書担当は主に市長・副市長の日程調整と管理、広聴担当は市政への手紙・メール等、広報担当は広報発行及びホームページの運用等、男女共同参画担当は講演会や情報紙等による啓発活動、あびこの魅力発信担当はテレビやラジオ等を活用した市内外への情報提供等を担っている。昨年度はオリ・パラ聖火リレー推進担当が設置され、6担当が相互に連携し、市民ニーズを的確に把握し市政に反映させ、市民との情報の共有化を進めていく必要がある。また、若者世代への情報発信において、SNSの活用するとともに各職員がより専門的知識・技術を習得する必要がある。</p>					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 栄典事務	重無	00000	国・県の表彰基準に該当する者、また、今後候補者となり得る者	件	3	3	4	133.33	現状
2 報道機関への情報提供	重無	81101	情報提供件数	件	85	85	172	202.35	結合
3 パブリックコメント手続	重無	81202	意見公募1件当たりの提出意見数	件	4	10	4	40	結合
4 市政ふれあい懇談会	重無	81102	参加人数	人	172	350	172	49.14	結合
5 市政への手紙・メール	重無	81102	市政へのメール・手紙の受付件数	件	461	350	461	131.71	結合
6 庁内調整を要する要望・陳情	重無	81102	受付した団体等の延べ件数	件	46	55	46	83.64	結合
7 非常勤職員の任免に関する事務	重無	00000	適正管理率	%	100	100	100	100	現状
8 スケジュール管理等秘書事務	重無	00000	市長等の公務の適正執行率	%	100	100	100	100	現状
9 市議会との連絡調整事務	重無	00000	連絡調整の達成度(連絡調整した数/連絡調整しなければならぬ)	%	100	100	100	100	現状
10 法律相談	重無	00000	相談者数	人	470	510	470	92.16	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	ホームページの管理・充実	重無	81101	年間ページ更新件数	件	3,775	4,000	4,556	113.9	拡充
12	広報の編集・発行	重無	81101	「広報あびこ」の年間配布部数	部	1,080,000	1,225,000	1,080,000	88.16	結合
13	暮らしの便利帳・ガイドマップの発行	重無	81101	ホームページアクセス数	部	0	2,000	1,317	65.85	結合
14	男女共同参画プラン進行管理業務	重無	42001	我孫子市第3次男女共同参画プラン計上事業の実施率	%	100	100	100	100	結合
15	男女共同参画啓発事業の実施	重無	42001	情報紙の発行部数	部	2,000	2,000	2,000	100	結合
16	シティプロモーションの推進	重無	81104	シティセールス動画へのアクセス数	回	28,413	40,000	28,413	71.03	現状
17	総合教育会議運営事務	重5	52101	法第1条の4に掲げる協議事項、協議・調整事項の合意率	%	100	100	100	100	現状
18	eモニター制度	重無	81202	モニター登録者数	人	368	300	368	122.67	結合
19	東京2020オリンピック・パラリンピック・聖火リレー推進事業	重無	43101	事前キャンプが実施されている。	%	100	100	70	70	その他

部の運営方針・課の目標設定書(令和3年度)

部コード	01	部名	総務部	部長名	山元 真二郎
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>【広報・広聴活動の充実】○広報あびことホームページ等による行政施策の情報提供を、迅速かつ的確に行っていきます。○市政への手紙やメール、eモニター、市政ふれあい懇談会などを通じ市民の声を市政に反映させます。○若い世代の定住化の促進や交流人口の増加を図るため、あびこの魅力を広く市内外に効果的に発信します。</p> <p>【情報公開の徹底】○情報公開制度に基づき、市政に関する情報を適切かつ積極的に公開します。○ファイリングシステムの維持管理を徹底し、文書の適正な管理に努めます。</p> <p>【機能的な組織運営と人材育成】○地方分権に対応した人材育成を図るため、各種研修の実施や人事評価の活用とともに、国や県などとの人材交流や人材派遣を実施します。さらに引き続き職制や組織体制を見直し、第四次総合計画を効果的に推進する組織の構築を進めます。○定員管理の適正化に努めるとともに、人件費の抑制の取り組みを進めます。○働き方改革や新たな生活様式に対応するため多様な勤務体制を検討し、在宅勤務などテレワークの継続・定着を図ります。</p> <p>【リスクマネジメントの推進】○事務処理誤りの発生を防止するため、策定した対応方針により防止策を検討・実施し、職員一人一人のリスクマネジメントの取り組みを推進します。</p> <p>【公民連携の推進と事業見直し】○行政や市民、NPO、企業などの多様な主体が、市民ニーズに適合した質の高いサービスを提供していけるよう、多様な手法を検討・活用し、事業の民営化や委託化を進めます。○事業の必要性や実施主体のあり方などについて、市民の視点を取り入れ、根本から事務事業の見直しを行います。</p> <p>【公有財産の有効活用と適正管理】○施設保全台帳システム等を活用し、適正な財産管理に努めます。</p> <p>【DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、マイナンバー制度の普及】○行政手続きのオンライン化やキャッシュレス・AI・RPAの利用推進、オープンデータの取組み及び官民データ活用推進計画の策定などDXを推進し、事務の効率化、コストの縮減、セキュリティの強化にも努めます。また国の方針によるシステムの標準化や共有化も取り組みます。○「マイナンバーカード交付円滑化計画」に基づき、マイナンバーカードの交付円滑化や用途拡大に取り組んでいます。</p> <p>【その他の取り組み】○契約制度を適切に運用し、さらに契約の適正化に努めます。</p> <p>【男女共同参画社会の実現】○平成31年度にスタートした「第三次男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画の趣旨が一層理解されるよう事業を進めます。</p> <p>【東京オリンピック・パラリンピック、聖火リレーの推進】○東京オリンピックの聖火リレーが我孫子市を通ることに伴い、我孫子の将来を担う子どもたちが夢や希望を持ち市民の記憶に残る聖火リレーとなるよう市をあげて取り組んでいきます。</p>				<p>・情報公開制度と個人情報保護制度の適切な運営に努め、情報公開請求及び自己に関する保有個人情報の開示請求を確実に処理し、適正に執行した。</p> <p>・また、全所属を対象にしたファイリング維持管理点検指導を行い、文書の適正な管理に努めた。なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、年1回の実施とした。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>概ね予定どおり執行できた。</p> <p>■市民と市の情報共有の推進については、広報あびこやホームページなどを通じ行政施策の情報提供に努め、市政の手紙やふれあい懇談会などでは、直接市民の生の声を聴き、行政運営に反映することができた。</p> <p>■行政改革の推進については、行政改革推進プランに沿って、各事務事業の見直しや行政改革推進委員会による事業仕分けを行うなど、事業の見直し検討を進めた。また、各種研修をはじめ、国や県との人事交流を通じて人材育成に努め、第四次総合計画を効果的に推進するため、部の再編、デジタル化の推進などを柱とした4年度の組織体制を構築した。DX推進は、RPAなど業務効率化とセキュリティの強化に努めるとともに、包括委託終了後、1月から次期事業者による運用を開始した。</p> <p>■男女が共に参画する社会の形成については、男女共同参画プラン実施計画に基づき、事業の推進に努めた。</p> <p>■東京オリンピック・パラリンピックは、学校連携観戦や事前キャンプなどの市民参加の機会に努めた。</p>	



課コード	04	課名	文書管理課	課長名	磯岡 光夫
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>・情報公開の徹底を図り、市民との情報の共有化を進めるとともに、個人情報の適切な保護に努めます。そのため、ファイリングシステムによる文書管理を徹底します。</p> <p>・3月、6月、9月及び12月の定例会並びに臨時会に係る議案を適切に審査の上、適正に上程できるようにします。</p> <p>・例規(条例を除く。)の制定改廃手続を適宜適正に処理します。</p> <p>・訴訟事務を適切に、かつ、スムーズに進めるための支援を行います。</p> <p>・行政事務に係る相談に適宜適切に対応します。</p> <p>・行政運営の基本情報となるデータ集計を行うため、基幹統計調査を適確に実施します。</p>				<p>・情報公開請求及び自己に関する保有個人情報の開示請求を確実に処理し、審議会の運営も含め、制度の適切な運用に努めた。</p> <p>・文書事務監視委員によるファイリング維持管理点検指導により、適切な文書管理に努めた。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
継続的に適正文書管理を行うため、職員に対してファイリング基準の周知及び定期的な維持管理点検指導を行う必要があります。					



4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価	
1 情報公開事務事業	重無	81103	情報公開請求全体に占める適正な情報公開の割合(全請求一審査)	%	100	100	100	100	結合	
2 行政情報資料室の管理・運営	重無	81103	行政情報資料室に備えてある資料冊数/行政情報資料室で備えて	%	99	100	99	99	結合	
3 ファイリングシステム維持管理	重無	81103	全体の課に対する、維持管理点検指導(年2回)における総合評	%	68	68	68	100	現状	
4 統計書作成	重無	81103	期限までに取りまとめる。	%	100	100	100	100	結合	
5 例規議案等審査事務	重無	00000	例規等の審査件数に対する制定改廃件数及び公示件数の割合	%	100	100	100	100	現状	
6 個人情報保護事務	重無	00000	個人情報の管理状況についての点検回数	回	1	2	1	50	現状	
7 千葉県毎月常住人口調査、年齢別・町丁字別人口調査	重無	81103	期限までに提出する。	%	100	100	100	100	結合	
8 文書の收受・配布・発送、公印の管理及び印刷業務	重無	00000	受領文書の所管課への配布、対外文書の発送、印刷を誤りなく行	%	100	100	100	100	現状	
9 統計調査員確保対策事業	重無	00000	調査員登録基準数70名に対する登録調査員数は超えているもの	人	147	150	99	66	結合	
10 訴訟事務	重無	00000	訴訟・相談完結率	%	100	100	100	100	現状	

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11 基幹統計調査	重無	81103	県から指定された調査員数を確保し、指定された期日に調査票を	調査	4	4	4	100	結合

